

援助・開発効果に関するソウル市民社会フォーラム参加報告

(特活)オックスファム・ジャパン 山田太雲

援助・開発効果に関するソウル市民社会フォーラム 2 日目 (9 月 2 日)

- フォーラム参加のアジア内外の市民社会関係者及び韓国政府関係者が参加。BOD 第 1 草案に関する Enna Park 氏との意見交換が目玉。
- 市民社会側からは CCIC の Brian Tomlinson 氏から BetterAid の主張をまとめたプレゼンがあった。
- 山田からは補足発言。特に、HLF4 を巡る情勢分析と、「責任ある関与の必要性」について指摘。

韓国政府について

- 韓国政府の HLF4 に向けた優先事項は「4G's」: Green, Growth, G20 and Gender
- BOD に関する韓国政府の公式見解は、議長国としての立場を意識。パートナー国や国内各ステークホルダーの意見を聴きながらポジションを固めている。特に、開発課題を G20 議題に載せた初の議長国としての立場を活用し、DAC ドナーと非 DAC ドナーとの橋渡しに注力。両サイドから一定の信頼を得ており、その分影響力を確保している模様。
- 非 DAC ドナーが現時点で PD/AAA に署名できない立場に理解。
- Enna Park 氏は、それまでの役職から、ジェンダー問題に強い関心。BOD にもこの視点を盛り込むことに活躍している模様。
- IATI 参加については、時間が必要としながらも、前向き。透明性とオーナーシップは賛成を得やすいとの見方。しかし、後者については「包摂的な」という表現が限界との立場。
- 民間セクターもグローバル・コンパクトなどを通じて HLF4 に招待されるとのことだが、民間セクターと政府の間で温度差？
- KOICA, 戦略財務部、外交通商部の間のバランス。
- ODA 増額のさなかにあり、かつ国内的にも議論が盛り上がっているため、ダイナミックな時期。権利ベースアプローチの研究などにも熱心。

韓国市民社会について

- HLF4 に向けた韓国市民社会のアンブレラ組織は KOFID (Korea Civil Society Forum on International Development Cooperation)
- KOFID は、BetterAid の Coordinating Group 、および Open Forum の Global Facilitation Group に参加。
- KOFID の構成要員: 国内の主だった「NGOs」と「CSOs」を包含する。
 - 韓国市民社会独特の歴史的経緯から、両者の間には明確な区別が存在する。
- 韓国の国際協力体制の転換期であること、また、政府が地球規模課題に関するリーダーシップを強

めていることを強く認識。国際的な市民社会との連携を強めている。(G20、HLF4、Rio+20、UNFCCC?)

HLF4における市民社会側の活動について

Busan Civil Society Forum (11月26-28日)開催予定

- HLF4に向けた市民社会としての共通戦略の討議
- HLF 関連課題に関する様々なワークショップやセミナー

ロジ上の課題

BEXCO 内での市民社会活動スペースの確保について

- CSO センターや活動ルームの設置について、韓国政府/OECD の了解が得られていない。また、ア krediyetasyon を持っても、メディアセンターに入れるかどうかはまだ不明。
- 日本政府からも、OECD および韓国政府に対し、この点の改善を要望されたい。

以 上